



ID: 1299

科目名	住宅計画【26年度生用】			コード			
英語表記	House Planning						
担当教員名	東 孝次			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
人々は、住宅の中で、社会生活での疲れを癒し、明日への活動のための団欒、食事、休憩、睡眠などの人間の基本的な生活行為を行い、「憩い」と「安らぎ」を得る。このことから住宅は、種々の建築物の中で最も基本的なものである。住宅の関わる事柄を学び、事例にも触れる。							
到達目標							
住宅は我々にとって最も身近な建物であるが、そこに含まれている内容は、建築を志すものにとっては、宝庫といえるほど豊かな内容に満ち溢れている。この住宅計画は、こうした住宅と住生活の対応関係から、住宅計画・設計・内部意匠計画・インテリアに繋げていく「考え方」を修得する。							
授業計画							
第1回	住宅計画の学び方、風土と住居						
第2回	竪穴式住居から現代の住宅まで						
第3回	住宅の機能、安全性、利便性、表現性						
第4回	居間、応接間、食事室、主寝室、子供部屋						
第5回	高齢者室、台所、浴室、トイレ、廊下・階段、玄関、収納						
第6回	インテリアデザインのポイント等						
第7回	住宅と宅地のバリアフリー、ユニバーサルデザイン						
第8回	設計のプロセス、住宅の平面計画						
第9回	寸法計画の考え方、ディテールの計画						
第10回	住宅の構造、架構の仕組みと構法、構造体の安全性						
第11回	事例の見学						
第12回	住宅の快適性、住宅の設備、省資源・省エネルギーの技術						
第13回	住宅設計の実際1						
第14回	住宅設計の実際2						
第15回	住宅の耐用年限、維持管理、住要求の変化に対応する方法						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
期末試験50%、平常点(小課題)を50%として評価する。小課題は各講義の要点を問題とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10		50	30
授業外学習			テキスト、教材				
自分の身近な住まいの平面図を作成し、その居住性を検討する。			岡田光正・藤本尚久・曾根陽子著「住宅の計画学入門」鹿島出版社				
参考書			受講生へのメッセージ				
住環境の計画編集委員会編「住環境の計画」全5巻、彰国社建築設計演習基礎編「建築デザインの製図法から簡単な設計まで」彰国社「デザイナーのためのパースペクティブ・テクニック基本と描法の実践」彰国社			計画的なアプローチによる住宅設計の手法を体系的に学ぶ。「建築概論」「建築構法」などを参照				
キーワード							
生活行為、住まいの機能、居住性、バリアフリー、健康住宅							